

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	<p>第1章「正の数・負の数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の概念 ・正の数・負の数の計算 ・数の集合と四則 <p>第2章「文字の式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量を文字で表すこと ・文字式の表し方 ・式の値 ・文字式の計算 ・関数を表す式 ・大小関係を表す式 	<p>①身の回りの事象に正・負の数が使われていることに関心をもち、いろいろな計算に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②数を正・負の数にまで拡張することで、正の数と負の数が反対の方向や性質を表す数として便利であることや計算の可能性が拡大されていくことに気付くとともに、加法と減法を統一的にみることができる。</p> <p>③正・負の数を用いて、身の回りのいろいろな事象を表すことができる。</p> <p>④正・負の数の意味を、これまでの経験や日常生活の具体的な場面に結び付けて理解している。</p> <p>①文字に関心をもち、数量やその関係を文字を用いて表現し、文字を含む式の計算に取り組もうとする。</p> <p>②事象の中にある数量やその関係を、文字を用いて一般的にかつ簡潔に表現し、考えることができる。</p> <p>文字を用いた式の計算も数の計算と同じように考えることができる。</p> <p>③事象の中にある数量やその関係を文字を用いて式に表したり、式から具体的な場面を読みとったりすることができる。</p> <p>文字を含む式の計算をすることができる。</p> <p>文字に値を代入して、式の値を求めることができる。</p> <p>④文字を用いることで数量やその関係が一般的にかつ簡潔に表現できること、文字を含む式の計算について理解している。</p>
二 学 期	<p>第3章「方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解 ・方程式の解き方 ・方程式の利用 ・比と比例式 	<p>①方程式及びその解の意味に関心をもち、積極的に取り組もうとしている。</p> <p>方程式を利用して、問題を解決しようとしている。</p> <p>②身の回りに方程式で表される事象があることを見だし、その解の意味を考えることができる。</p> <p>方程式を利用して問題を解決できる。また、その答えが適切であるかどうかを考えることができる。</p> <p>③方程式を解くことができる。また、文章を読んで、方程式を立てることができる。</p> <p>④方程式とその解の意味を理解している。</p> <p>等式の性質や方程式の解き方を説明することができる。</p>

<p style="text-align: center;">二 学 期</p>	<p>第4章「比例と反比例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係 ・座標 ・比例の式とグラフ ・反比例の式とグラフ ・比例・反比例の利用 <p>第5章「平面図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線と角 ・対称な図形 ・基本の作図 ・円とおうぎ形 ・図形の移動 	<p>①比例，反比例に興味をもち，変化の様子やグラフの特徴などを進んで調べようとする。また，比例・反比例を利用し，問題を解決しようとしている。</p> <p>②身の回りの事象の中にある二つの数量の関係を，変化や対応の様子に着目して調べ，比例，反比例の関係を見いだすことができる。また，それを利用して問題を解決することができる。</p> <p>③比例，反比例の関係を表，式，グラフで表現することができる。また，変域を求めることができる。</p> <p>④比例・反比例の関係を見いだすことができ，その特徴，座標の意味や変域についても理解している。</p> <p>①図形の対称性や基本的な作図について関心をもち，進んで取り組もうとしている。</p> <p>②基本的な平面図形を，対称性の視点から考察し，基本的な作図方法を見いだすことができる。また，作図した図形が条件に適するものであるか否かを振り返って考えることができる。</p> <p>③線対称や点対称の図形を見つけたり，作ったりすることができる。</p> <p>基本的な作図方法を用い，目的に応じて図形をかくことができる。</p> <p>④線対称や点対称の意味，基本的な作図の方法を理解している。</p> <p>円の半径と接線との関係や弧・弦の意味を理解している。</p>
<p style="text-align: center;">三 学 期</p>	<p>第6章「空間図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・面や線を動かしてできる立体 ・立体の表面積と体積 ・立体の投影図 ・球の表面積と体積 <p>第7章「資料の活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・度数分布 ・代表値と散らばり ・資料の活用 ・近似値 	<p>①いろいろな空間図形の性質について，意欲的に調べようとする。</p> <p>②目的に応じて空間図形を平面図形にして考えてみるなど，空間図形を多面的に見ることができる。</p> <p>基本的な図形の性質に基づいて，その計量の仕方を考えることができる。</p> <p>③見取図や展開図を用いて空間図形を適切に表現したり，見取図や展開図から空間図形やその性質を読みとったりすることができる。</p> <p>様々な立体の表面積や体積を求めたり，その求め方を説明したりすることができる。</p> <p>④空間における直線や平面の位置関係や立体の構成の仕方を理解している。</p> <p>立体の表面積や体積の求め方，またπの必要性和意味を理解している。</p> <p>①目的に応じて資料を整理したり，進んで資料の傾向を読み取ろうとする。</p> <p>②与えられた資料を処理した結果や作成したグラフについて，正しく読み取り，合理的で的確な判断をし，それを伝えることができる。</p> <p>③目的に応じて手際よく資料を整理することができる。</p>

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は、先生の話や友達の意見を集中して聞きましょう。 ・ペア学習で簡単な計算や用語について確認します。しっかりとペアで確認して力をつけましょう。（音声計算など） ・2～4人組で学習内容について話し合ったり、答え合わせをしたりするときは、積極的に取り組みましょう。また、わからないときは自分から聞くようにしましょう。 ・学習内容について理解に努め、自分なりに説明し伝え合えるようにしましょう。 ・授業中のノート、プリントは丁寧に書き、計算、図、表やグラフをきちんとかけるようにしましょう。計算に関しては途中式をしっかりとかきましょう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は副教材として「完成問題集」と「問題ノート」と「ベーシックマスター」を配布します。提出する時期については授業中に伝えます。計画的に学習してください。 ・問題集を提出するときは、必ず答え合わせ（丸つけ）をします。この時、丁寧に丸つけを行う時間を必ずとりましょう。間違えた問題については、解答を見て学習し直しましょう。 ・予習・復習を大切にしましょう。